

ながおか・放課後子ども通信

令和7年9月10日発行(vol.10) 長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども政策課 ☎0258(39)2393

より充実した児童会館・児童クラブの運営に向けて

子ども政策課 課長 松木 祐子

日頃より、地域・保護者の皆様には、子育て事業への温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。子どもたちの明るい未来のために、子ども政策課では、健やかな成長をサポートし、子育てしやすい環境づくりを目指して様々な取り組みを進めています。

今年度から、放課後児童クラブの管理・運営を安全給食サービス 明日葉 共同企業体にお願いすることになりました。民間企業の豊富な経験とノウハウを活かすことで、子どもたちがさらに楽しく、充実した時間を過ごせるような、質の高い児童クラブ運営を目指しています。

職員の事務作業を効率化するため、情報通信技術（ICT）システムを導入し、子どもたちの安全確保にさらに力を注げるよう、日々努力を重ねています。子どもたちの笑顔があふれる、安全で安心できる環境を地域全体で育んでいきたいと考えております。

これからも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



【児童会館・児童クラブで過ごす子どもたち】

安全給食サービス 明日葉 共同企業体

代表企業 株式会社安全給食サービス 代表取締役 青木 健児

このたび、令和7年4月より長岡市の児童会館・児童クラブの運営業務を受託いたしました「安全給食サービス 明日葉 共同企業体」です。私たちはこれまで、学校給食の提供や学童保育の運営などを通じて、子どもたちの健やかな成長と地域の暮らしを支える事業に取り組んでまいりました。今回の受託は、その経験と想いをさらに広げ、放課後の時間をより安心して豊かなものにしていく大きな一歩と考えています。

児童会館・児童クラブは、子どもたちにとって「遊びの場・生活の場」です。宿題や読書、工作、外遊びなど、日々の活動を通して友達と関わり合い、社会性や思いやりを育てていきます。私たちは、そうした日常が安全で温かな環境の中で営まれるよう、スタッフ一人ひとりが子どもたちの声に耳を傾け、笑顔で寄り添うことを大切にしています。安全管理の徹底はもちろん、一人ひとりの個性やペースを尊重し、子どもたちが自分らしく過ごせる居場所づくりを進めます。

これからも、保護者の皆様、地域の皆様、学校、教育委員会との連携を深めながら、「子どもたちの笑顔のために」を第一に考えた運営に努めてまいります。どうぞ温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「児童会館・児童クラブ」での活動の様子を紹介します

達成感と華やきを ～夏休みの制作～

宮本児童クラブ 主任支援員 小林 ひろ子

宮本児童会館では毎年夏休みに子どもたちと壁面飾りを制作しています。

毎年テーマは変わりますが、今年のテーマは「おばけ」です。ビニール袋に丸めた紙テープを入れて、シールやマジックで飾りました。出来上がった順に廊下に張り出します。どんどん増えていくおばけ!!達成感もあり、児童会館の廊下も華やいています。

学校が始まるとみんなで壁面飾りの前で記念撮影をして、歴代の写真が児童会館の廊下を飾っています。11月の作品展にも出品して地域の人にも見ていただきます。

自分の作ったおばけを、おうちの人に紹介して親子の会話にも一役買っているようです。この他にも廃材工作など、色々な制作を楽しんでいます。



【おばけの壁面飾り(左)、廃材で作った衣装と仮面(右)】

食を選ぶ力を身に付ける ～児童クラブ等での食育プログラム～

健康増進課 主任(栄養士) 古川菜穂子

「食に関心を持ち、正しく食を選択できる力を育てる」ことを目的に平成20年度から実施しています。各施設の職員と相談しながら、子どもたちの日頃の様子や育てて欲しい姿などを踏まえて、講義だけではなく体験活動も取り入れた内容を計画しています。



【献立作り(上)、豚汁作り(下)】

食事のバランス、災害食、食事マナーやフードロス、朝ごはんの大切さ等をテーマとし、紙芝居やイラストを使った講話や、紙コップを使ったシャカシャカおにぎり作り、旬の野菜のお汁作り等の体験活動を行い、楽しみながら学べる内容としています。子どもたちは、一生懸命にバランスの良い献立を立てたり、本物の野菜に触れて大盛り上がりで野菜クイズに答えたり、自分たちで作った料理の美味しさに感動したり…。

実施後、食事の挨拶の意味を聞いてから挨拶をしっかりするようになった、お弁当を見てバランスが揃っているか確認するようになった等の声も聞きました。子ども自身が気づくことはもちろん、この体験を子どもから保護者へ伝えることで、改めて家族で食生活を考えるきっかけになればと願っています。

「放課後子ども教室」での活動の様子を紹介します

放課後の楽しい居場所になるように ～阪之上放課後子ども教室～

阪之上コミュニティセンター 主事 石田 由紀

抹茶・けん玉・ダンス教室を年3回開催しています。どれも人気で約20名の参加があります。昨年度に引き続き参加している子が多く、講師とも顔見知りになります。抹茶は色々な作法を覚え、けん玉は出来なかった技ができるようになり、ダンスは曲に合わせて体を動かすことを楽しんでいます。どの講座も一生懸命な姿が見られます。放課後の楽しい居場所となるように、小学校とコミセンが連携して日程や会場を調整し、ボランティアさんに支えられて運営しています。



【けん玉教室】

熱意で支える子どもの笑顔 ～神田放課後子ども教室～

神田放課後子ども教室 企画部幹事 小杉 佐智子

神田放課後子ども教室は、地域ボランティアの熱意に支えられています。学校や家庭ではできない経験の機会を整え、成長の場となるように運営しています。

特徴のひとつは、大学生やゲスト指導者のプログラムです。魅力的な教室は子どもの興味を惹きます。もうひとつは手芸などの制作活動です。創意工夫で自分だけの作品を作る達成感。教え合い協力し合う共感力。成長の過程があります。

子どもの笑顔を大切に運営しています。



【ミシンでパッチワーク】

放課後子ども教室実務担当者情報交換会

7月4日(金)「放課後子ども教室」の実務担当者が集まり、情報交換会をしました。企画・運営に関する成果や課題を持ち寄り、4グループに分かれて課題解決に向けてのアイデアを出し合った後、全体で共有しました。参加者からは「具体的な解決策がなかなか見つからない。」という声が出る一方で「内容が充実していたし励まし合い共感し合えた。」という感想もありました。全体共有場面では「大変なことはあるけれど、子どものうれしそうな顔を見ると、やってよかったと思うんですね。」との発言に参加者が大きくうなずく光景も見られました。



【全体共有場面の様子】

みんなの笑顔が集う場所「豊愛おひさまバル～みんなの広場～」

「豊愛おひさまバル」は社会福祉法人芳香稚草園（法人施設全ての職員）とボランティアの皆様との連携で運営されている食堂です。

栃尾地域にあり、月1回お弁当配食をしています。土曜日のお昼に温かいバル弁当を食べ、子育て中のお母さんがホッと一息ついたり…家で待つ家族のために…と利用方法は様々です。メニューは法人保育園の給食職員と一緒に考え、給食人気メニューを取り入れ利用者やボランティアの皆様にも喜ばれています。昨年より、当法人の子育て支援センター「たけのこルーム」で開催される「お祭り」に、会食スタイルで開催しています。人と人とのつながりを担う食堂に、地域の皆様が集い笑顔あふれる時間を過ごしています。



【調理はお寺の調理場で行っています!】



【会食では楽しそうな声と笑顔があふれていました】

開催日・時間：第4土曜日 11:30～12:30（事前申し込みが必要）

場所：総合子育て支援施設「豊愛子どもの森」

料金：大人 200 円 子ども 50 円 （お祭り会食時 100 円）

問い合わせ先：豊愛おひさまバル（0258-52-1791）

「親も育つ子育てセミナー・講演会」～横澤富士子さんを講師に迎えて～

家庭教育講座を4月20日（日）市立劇場にて開催しました。

この講演会は「長岡市子ども会連絡協議会」の育成役員研修を共催したもので、上級教育カウンセラーでタレントの横澤夏子さんの母でもある横澤富士子さんに『地域とつながって子どもたちの心を豊かに育てましょう』をテーマにお話いただきました。

反抗期は『信じて、任せて、待つ』や『ごめんなさい』『ありがとう』が言える家庭環境が大事など、子育ての過程で大切なポイントをユーモアを交えながらお話いただきました。参加者にとって、改めて考える良いきっかけとなったのではないのでしょうか。



【ステージ上で語る横澤さん】